We ♡ TAKARAZUKA

私たちも、実は“ヅカファン”です。僕と私がタカラヅカを愛する理由。

Interview (Sischy): Yumiko Sakuma

橋尾忠則

僕の中の“オバケ”が、宝塚で目覚めた。

篠山紀信

宝塚は、ある一つのアートです。

Ingrid Sischy

ファンとスターの関係に惹かれます。

美のエキスパート、片桐衣理が語る！ タカラジェンヌの美意識。

Eri Katagiri
衣理クリニック表参道院長

片桐衣理／TVでも活躍し、モデルや女優たちから「美のパーソナルドクター」として絶大なる支持を受けるカリスマ医師。6月28日から3カ月限定でタカラジェンヌのためのスペシャルブレンドの点滴をヴォーグ読者に特別に施術！「VOGUE スペシャルブレンド」¥15,000（通常¥20,000）。●東京都港区北青山3-5-30 入来ビル4F ☎03-5786-1155 営10:00～19:00 休水・第1, 2, 3日曜 www.eri-clinic.com/

「美の駆け込み寺」として多くのタカラジェンヌのビューティ・サポートをしていることで知られる衣理クリニック表参道。業界きっての宝塚通としても有名な院長の衣理先生に、宝塚ビューティの極意を聞きました。

――先生のクリニックにはモデルや女優のみならず、多くのタカラジェンヌのクライアントがいるそうですね。

衣理先生（以下 E）はい。具体的には申し上げられませんがOGも含めるとかなりの人数になります。

――やはり他の女優さんに比べて、タカラジェンヌの美へのこだわりは独特ですか？

E かなり独特の美意識がありますね。テレビの大画面や映画のスクリーンに映し出される女優さんが「寄りの美」であるとするならば、宝塚はまさに「引きの美」。姿勢から所作、視線にいたるまで舞台人として「お客様が求める美」を自分のなかに追求するその姿勢は本当にストイックです。

――ビューティ・メニューも独特ですか？

E 彼女たちは公演中、多くは一日2公演を休むことなく演じ続け、週に一日しかない休みの日さえも体のメンテナンスや取材に充てるなど、非常に過酷な日々を過ごしています。そんななか駆け込んでくる彼女たちには、即効性のあるものを選んで施術します。リフレクソロジーのほか、疲労回復効果もあるスペシャルブレンドの点滴を打ちながら、舞台化粧で乾燥した肌を再生させる特別に濃密なケアをしたり。それと宝塚では「手」の所作にとても注目が集まりますので、手をピーリングして滑らかな質感を出すこともあります。彼女たちが求めるのは「自分がどうありたいか」という主観的な美ではないんですよね。公演ごとにヘアカラーを変え、役柄ごとに「こうありたい」という美の理想を求めていく。「燃え尽きてしまうのではないか」と思うほどすべてを舞台に捧げているんですよ。自分のためではなく、お客様のために綺麗になる……そういった意識の強い人が自然とトップに登り詰めていきます。それを見ているのは、私にとっても楽しみなことです。